

| 発行者の番号略称  | 書名  | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領との関連   | 内容  | 構成・分量・装丁   | 表記・表現   |
|-----------|---|--|--|---|--|---|
| 26<br>信教  | せいかつ<br>あおぞら<br>せいかつ<br>そよかせ  | 上<br>下<br>・地域に根差した人・もの・ことと長期に渡る直接体験を通して関わるができるように、地域に即した学習対象や体験活動を掲載するなどの工夫をしている。<br>・季節の行事を一年間の流れの中に位置付け、時系列で単元を配列するよう工夫している。 | ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、地域に根差した人・もの・こととの関わりを重視し、長期に渡る継続的な直接体験を学習活動に位置付けたり、季節の行事と関連付けたりして、地域への愛着が深まるよう工夫している。            | 【知識及び技能の基礎】<br>・植物の単元では、栽培の手順を土づくりから示すイラストを掲載している。<br>・端午の節句や七夕、お月見等、季節の行事についてのイラストや写真を掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等の基礎】<br>・児童が学習対象と繰り返し関わられるように、年間を通してヤギの飼育について掲載している。<br>・単元を通して問題解決を促すイラストや文、吹き出しを掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・またたんけん単元では、地域の伝統文化に関わる写真や語り部の吹き出しを掲載している。<br>・地域とのつながりが深まるように、単元で関わった人々からの手紙や児童が地域の方へ書いた手紙を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童のイラストを掲載している。<br>・家族や地域の人たちと共に活動するイラストや写真を掲載している。       | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・児童が思いや願いをもって学習に取り組めるように、大豆を栽培してきな粉や豆腐を作ったりする等の学習活動を掲載している。<br>・児童が四季を通して繰り返し直接体験ができるように、児童の学校生活や季節の行事を一年間の流れの中に位置付け、時系列で掲載している。<br>・信州の地域に育つ児童が四季を通じてその場所に関わる内容構成にしている。<br>【分量・装丁】<br>・上巻は17単元、下巻は13単元を掲載している。<br>・大きさはAB判としている。<br>・右開きでページが進むように構成している。 | ・縦書きで表記している。<br>・各単元の学びのまとめを、詩にして掲載している。<br>・季節の単元では、広くまちや自然の様子が見えるよう観音開きでイラストを掲載している。<br>・初めて出てくる漢字にはルビを付けている。<br>・カラーユニバーサルデザインの観点を取り入れた配色にしている。        |
| 38<br>光村  | せいかつ<br>たんけんたい<br>上<br>はじめてが<br>いっぱい<br>せいかつ<br>たんけんたい<br>下<br>はっけん<br>だ<br>いすき | ・児童の発想を広げたり気付きを促したりするために、絵本作家のイラストで児童の活動の様子を掲載したり、「～かな」と問いかける見出しを付けたりする工夫をしている。<br>・見聞きごとに振り返りを設定し、児童の気付きが次の活動につながるよう工夫している。   | ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「学びのたんけん」をコンセプトとし、児童の興味関心から身近な人・もの・ことと関わり、試行錯誤を通してできるようになったことを伝え合う等、継続的・発展的に学習がつながるよう構成を工夫している。 | 【知識及び技能の基礎】<br>・生活科の学習で大切にしたい力を14のアイコンで分類して掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等の基礎】<br>・自分たちの活動を伝える場面では、ICT機器の利用や新聞、ポスター、すごろく等、様々な表現活動の例を掲載している。<br>・児童の多様な考えをもつことにつながる「こんなこともあるかもね」「こんなものもあるかもね」の欄を掲載している。<br>・おもちゃ作りの単元では、素材遊びの様子を多く紹介している。おもちゃの名前や個別の掲載はなく、活動写真の中で掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・活動の紹介のページには、「～かな？」など子どもに考えを投げかける言葉を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・多様性を考慮し、車椅子の人やお年寄り等、様々な人と関わるイラストや写真を掲載している。                                  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・児童の関心を高められるように、一人一人が物を作ったり、生き物と触れ合ったりしている様子を大きな写真で掲載している。<br>・「春夏秋冬」の自然物を1枚にまとめたシート「せいかつかん」を巻末に付録として掲載している。<br>・学習の流れを導入、展開、振り返りという3段階の構成で統一している。<br>【分量・装丁】<br>・上下巻ともに9単元を掲載している。<br>・大きさはA4判としている。<br>・上下巻とも、巻末に付録として「ひろがるせいかつかん」が付いている。                | ・絵本作家のヨシタケシンスケのイラストを掲載している。<br>・低学年の発達段階を踏まえ、文字の書体や大きさに配慮して掲載している。<br>・初めて出てくる漢字にはルビを付けている。<br>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。                                    |
| 61<br>啓林館 | わくわく<br>いかつ<br>上<br>いきいき<br>いかつ<br>下  | ・学びが継続的・発展的になるように、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3段階で構成する工夫をしている。<br>・幼児教育や3年生以降の学習とのつながりが見えるように、「すたあとぶっく」や「ステップブック」を掲載する工夫をしている。        | ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3つの学習過程を示し、身近な人・もの・ことに係る直接体験をもとに子どもが発見したことが学びにつながるよう工夫している。                | 【知識及び技能の基礎】<br>・巻末の「がくしゅうずかん」で、学習活動に即した資料を掲載している。<br>・生き物の育て方やおもちゃの作り方、留意点等を示すイラストを掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等の基礎】<br>・イメージを広げる手法や物事を多面的に捉える手法等、思考ツールの例を掲載している。<br>・学習活動を伝え合う場面では、地図や新聞、動画等、様々な表現方法の例を掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・単元のはじめに児童が思いや願いをもつことができるよう「わくわくたいむ」という見開きのページを掲載している。<br>・幼児教育における学びや3年生以降の学びをつなぐために、上巻巻頭には、「すたあとぶっく」を、下巻巻末には「3年生へのステップブック」を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童等、多様な児童をイラストで掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・活動の中で生まれた気付きや思い、願いが次の活動につながるように、児童の思考の流れに沿った単元構成にしている。<br>・自分の成長への気付きにつながるように、単元の最後は「できるかな できたかな？」のコーナーを掲載している。<br>・「デジタルたんけんブック」で単元に沿った資料が見られるよう二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・上巻は10単元、下巻は8単元を掲載している。<br>・大きさはAB判としている。                                   | ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の活動ごとに色分けしている。<br>・上巻のはじめに、スタートカリキュラムの具体例を示した小判ページを掲載している。<br>・文字による情報を抑え、イラストや写真を使用している。<br>・漢字にはルビを付けている。<br>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 音楽

| 発行者の番号略称 | 書名   | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領との関連  | 内容   | 構成・分量・装丁  | 表記・表現   |
|----------|--|--|---|--|---|---|
| 17<br>教出 | 小学音楽<br>おんがくのおくりもの1<br>小学音楽<br>音楽のおくりもの2<br>小学音楽<br>音楽のおくりもの3<br>小学音楽<br>音楽のおくりもの4<br>小学音楽<br>音楽のおくりもの5<br>小学音楽<br>音楽のおくりもの6 | ・題材は、主要部分と選択可能なオプション部分で構成し、〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」を各題材の冒頭に「音楽のもと」として、思考・判断のよりどころとして学習を進める工夫をしている。<br>・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、音楽と生活との関わりに関心をもつ工夫をしている。            | ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「こっこのうた みんなのうた」「わらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡等」を掲載し、我が国の伝統や文化への理解を深める工夫を行っている。 | 【知識及び技能】<br>・音楽を形づくっている要素の働きの理解を促すために『音楽のもと』まとめを掲載している。<br>・楽器の写真や絵、運指を掲載したり、技能の定着を図るための「めざせ楽器名人」のコーナーを設けたりしている。<br>【思考力,判断力,表現力等】<br>・音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示している。<br>・思考する内容のヒントとして「まなびナビ」のコーナーを設けたり、音楽を絵図や言葉で説明したりしている。<br>【学びに向かう力,人間性等】<br>・音楽の楽しさや美しさにふれるために、体を動かす活動の例を示したり、曲の魅力について気付きを書き留めたりできるコーナーを設けている。<br>・他教科等の学習と関連する教材を掲載したり、楽器の奏法や解説、音源、ワークシートなどを見られるよう、必要なページに二次元コードを掲載したりしている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・我が国及び諸外国の音楽や様々な楽器、SDGsに関連する教材を掲載している。   | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・題材は、中心となる主要部分と、主要部分を補完する選択可能なオプション部分で構成している。<br>・「学び合う音楽」や「音のスケッチ」では、友だちとの関わりの中で学習を進める活動を掲載している。<br>・1年間の学習の見通しを示した「学習マップ」や、既習の学習を振り返るマークを示している。<br>【分量・装丁】<br>・判型はAB変型で、各学年に折込のページを設けている。                             | ・題材名は、縦書きで短文の形で示し、教材ごとに学習目標を横書きで示している。<br>・共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加え、情景の写真を折込のページを使って3ページ分で掲載している。                    |
| 27<br>教芸 | 小学生のおんがく1<br>小学生の音楽2<br>小学生の音楽3<br>小学生の音楽4<br>小学生の音楽5<br>小学生の音楽6   | ・題材は、表現及び鑑賞の関連性をもった教材で構成し、〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」を各教材に示し、それらを学習の中で聴き取ったり、そのよさや面白さ等を感じ取ったりすることができる工夫をしている。<br>・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる工夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「地域に伝わる伝統芸能や民謡」「こっこのうた」「歌」いつでも日本の歌」を掲載し、我が国の伝統や文化への理解を深める工夫を行っている。      | 【知識及び技能】<br>・表現及び鑑賞の活動を通して、知識・技能を習得、活用するために「見つける」や「歌う、演奏する、つくる」のコーナーを設けている。<br>・楽器の写真や絵、運指を掲載したり、題材の中で技能をサポートするコーナーを設けたりしている。<br>【思考力,判断力,表現力等】<br>・音楽を形づくっている要素を題材の各教材のページ端に示し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを書き込むコーナーを設けている。<br>・思考を促すヒントや考えるきっかけとして、「考える」のマークやキャラクターを活用したり、音の様子を図形で示したりしている。<br>【学びに向かう力,人間性等】<br>・音楽を形づくっている要素を題材の各教材のページ端に示し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを書き込むコーナーを設けている。<br>・学んだことを生活と関連付けるために、身の回りの音や地域の音楽、音楽に関わる権利の理解などを扱うコーナーを設けている。<br>・他教科等の学習との関わりを促す教材を掲載したり、音源や音楽づくりの教材、楽器の紹介や奏法、図形楽譜の再生などを見られるよう、教材ごとに二次元コードを掲載したりしている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・我が国及び諸外国の音楽や様々な楽器、SDGsにつながる口絵や音楽を掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・題材を通した学びを意識し、音楽を形づくっている要素の視点で表現や鑑賞を関連付けた題材を構成している。<br>・キャラクターを活用し、協働的な学びや対話的な学びを促す活動例を掲載している。<br>・1年間の学習の見通しを示した「学習マップ」や、題材を振り返る「学習のまとめ」、1年間の学習を振り返る「ふり返りのページ」のコーナーを設けている。<br>【分量・装丁】<br>・判型はAB変型で、全学年同じ紙質、綴じ方で統一している。 | ・題材名は、「～しよう」という文型で縦書きで示し、教材ごとに学習目標及び学習内容を横書きで示している。<br>・共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加え、我が国の文化や自然環境の保護などの視点からコラムや写真を掲載している。 |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 図画工作

| 発行者の<br>番号略称 | 書名   | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領との関連  | 内容   | 構成・分量・装丁  | 表記・表現   |
|--------------|--|--|---|--|---|---|
| 9<br>開隆堂     | ずがこうさく1・2上<br>わくわくするね<br>ずがこうさく1・2下<br>みつけたよ<br>図画工作3・4上<br>できたらいな<br>図画工作3・4下<br>力を合わせて<br>図画工作5・6上<br>心をひらいて<br>図画工作5・6下<br>つながる思い                   | ・造形的な視点について自<br>分の感覚や行為を通して理<br>解し、表したいことを見付け<br>て考えることを促す投げかけ<br>を示し、創造的に表すことが<br>できるような工夫をしている。<br>・つくりだす喜びを味わい、<br>自分のイメージをもちなが<br>ら、多様な表現にふれる工<br>夫をしている。        | ・教育内容の主な改善事項<br>のうち「言語活動の充実」に<br>関して、コミュニケーションや<br>言語活動を重視した題材や<br>共同で行うことを重視した題<br>材を設定し、話し合いの視<br>点を掲載している。 | 【知識及び技能】<br>・表現技法や材料、安全な用具の使用についてまとめた「学びの資料」を巻末に掲載している。<br>・用具の使い方や作品などの動画、写真を見ることができ二次元コードを掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・表現題材において、発想や構想を促す投げかけを掲載している。<br>・鑑賞作品と児童の活動を関連して扱い、造形的なよさを見つけられるページを掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・社会とのつながりを示すために、作家と児童の活動を各学年の巻頭に掲載している。<br>・社会と関わる事例や取組を紹介する「つながる造形」を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・多様性を意識できるよう、「外国の友達の色」を掲載している。<br>・コミュニケーション能力を高められるよう、共同で行うことを意図した題材を掲載している。       | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・育成を目指す資質・能力をキャラクターで示し、中心となるめあてには下線を引いている。<br>・育成を目指す資質・能力を示したキャラクターが、活動のポイントを伝える構成にしている。<br>・作品例、作品カード、振り返りなど学習の流れに沿った資料が見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・A4判、1・2上下、3・4上下、5・6上下で、アジロ綴じにしている。  | ・使用する用具や材<br>料を、ページ左上に<br>示している。<br>・どのような資質・能<br>力を身に付けたか、確<br>認できるよう、「ふりか<br>えり」を右下に示して<br>いる。              |
| 116<br>日文    | ずがこうさく1・2上<br>まるごと たのしもう<br>ずがこうさく1・2下<br>まるごと たのしもう<br>図画工作3・4上<br>ためす 見つける<br>図画工作3・4下<br>ためす 見つける<br>図画工作5・6上<br>わたしとひびき合う<br>図画工作5・6下<br>わたしとひびき合う | ・造形的な視点について自<br>分の感覚や行為を通して理<br>解し、活動の場面ごとの投<br>げかけを示し、表したいこ<br>とを見付けて考え、創造的<br>に表すことができるような工夫<br>をしている。<br>・つくりだす喜びを味わい、<br>自分のイメージをもちなが<br>ら、多様な表現にふれる工<br>夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事項<br>のうち「言語活動の充実」に<br>関して、形や色、言葉で思<br>いを伝え合う活動が促され<br>るよう、児童の作品コメント<br>や、児童のワークシートを掲<br>載している。     | 【知識及び技能】<br>・材料や用具の安全な取り扱いについて「材料と用具のひきだし」として巻末に掲載している。<br>・形や色などを造形的な見方・考え方で捉えられるように、「図工のみかた」を掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・児童が活動している写真や活動の場面毎の学習をサポートする投げかけを掲載している。<br>・全巻の巻末にアートカードの活用法が分かるページを掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・生活の中の形や色と豊かに関わるよう、学んだことを家庭で生かしている様子を掲載している。<br>・学びを生活や社会につなげられるよう、「広がる図工」を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・共生社会を意識できるよう、多様な人の作品などを掲載している。<br>・感じたことや考えたことを伝え合う「友だちと作品を見て話そう」を掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・育成を目指す資質・能力が明確になるよう、「学<br>習のめあて」では3観点を5項目に細分化して示し<br>ている。<br>・表現と鑑賞を往還しながら活動できるよう、発想<br>や構想のめあて(A表現)と、鑑賞のめあて(B鑑<br>賞)の両方を示す構成にしている。<br>・用具の使い方、児童の作品や作家のメッセージ<br>等が見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・A4判、1・2上下、3・4上下、5・6上下で、無線綴<br>じにしている。 | ・使用する用具や材<br>料を、ページ左下<br>に示している。<br>・前に習った用具を<br>使用する題材では、<br>適切な取り扱いの定<br>着が図られるよう、<br>「思い出そう」を左<br>下に示している。 |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 家庭

| 発行者の<br>番号略称 | 書名  | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領との関連   | 内容   | 構成・分量・装丁   | 表記・表現  |
|--------------|---|--|--|--|--|--|
| 2<br>東書      | 新編 新しい家庭<br>5・6<br>私がつくる みんな<br>でつくる 明日をつ<br>くる | ・題材ごとに「家庭科の<br>窓」で生活の営みに係<br>る見方・考え方を示して<br>いる。<br>・生活をよりよく変えて<br>いくために、課題を設<br>定し、課題解決・実践<br>活動、評価・改善する<br>等の問題解決的な学習<br>を3ステップで展開でき<br>る工夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「体験活動の充<br>実」に関連して、「活動<br>やってみよう」「活動深めよ<br>う」等で実習例、作品例を<br>示している。また、生活の<br>課題と実践について「夏<br>休みわくわくチャレンジ」<br>「生活を変えるチャン<br>ス！」として家庭や地域と<br>関連した実践例、課題例<br>を示している。 | 【知識及び技能】<br>・快適に過ごすための工夫を調べる活動例、持続可能な社会をつくるための実践例を複数例示している。<br>・調理や裁縫の仕方等の動画を確認できるページには、二次元コードを記載し、視聴できるように示している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・ステップ1で課題発見、ステップ2で課題解決・実践活動、ステップ3で評価・改善、そして家庭実践へとつな<br>げるという学習の流れを設定している。<br>・「家庭科の窓」に生活の営みに係る見方・考え方を示している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・家族への思いや家庭生活をよりよくしたい心情を大切に2年間の学習が始められるよう、自分の生活を見<br>直す題材からスタートし、「生活を変えるチャンス！」では、習ったことを家庭で実践するための進め方を示し、<br>家庭生活に生かしている展開例を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・学習内容と関連して、家庭生活や将来の生活に関わる「プロに聞く」のコラムを掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・ステップ3の「生活に生かそう・新しい課題を<br>見つけよう」では、題材の学びを総合的に活<br>用し取り組める構成にしている。<br>・目次に4年生までの既習との関連を「成長の<br>ふり返り」で示している。<br>【分量・装丁】<br>・A4判、149ページである。<br>・実習の流れを見開きで示し、左から右へ活<br>動が進む作りで示している。<br>・実習に関する用具の扱い方を確認できるよう<br>写真を掲載している。     | ・「安全」のマークで、実習や製作<br>等での注意点を示している。<br>・「リンク」のマークで、関連する他<br>の題材の学習ページを示し、他教<br>科や中学校での学習内容を意識<br>できるよう、関連するページに教<br>科・学年・単元内容を掲載してい<br>る。<br>・ユニバーサルデザインや多様性<br>(ジェンダーや左利き)に配慮して<br>表記している。<br>・SDGsと関連する内容に番号と<br>マークを記載している。 |
| 9<br>開隆堂     | わたしたちの家庭<br>科 5・6                               | ・自分や家族の生活を見<br>つめ直し、生活事象<br>から課題を発見し、解<br>決するための見方・考<br>え方の視点を示してい<br>る。<br>・生活をよりよくしていく<br>ために、自分の経験を<br>踏まえた気づきや思考<br>を引き出す学習が展開<br>できる工夫をしている。  | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「体験活動の充<br>実」に関連して、「調べよ<br>う」「やってみよう」で実験<br>例、実習例等を示してい<br>る。また、生活の課題と実<br>践について「レッツトライ！<br>生活の課題と実せん」<br>生活の課題と実せん例」で<br>実践例を示している。                           | 【知識及び技能】<br>・調理手順を写真や言葉で示したり、調理実習の工程場面を細分化したりして示している。<br>・調理や裁縫の仕方等の動画を確認できるページには、二次元コードを記載し、視聴できるように示している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生活の中から課題を見付け、解決方法を考えて実践し、評価・改善したことをまとめ、発表する等の学習の流<br>れにしている。<br>・題材の始めに生活の営みに係る見方・考え方を「四つ葉のクローバー」で示している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・題材を通して見通しをもち、生活の中から見付けられるような課題を示し、「生活の課題と実せん例」で学んだ<br>ことを家庭での実践につなげる製作例等を示している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・学習に関連した職業の人の話を「キャリアインタビュー」に掲載している。   | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・学習過程を「気づく・見つける」、「わかる・で<br>きる」、「生かす・深める」という3ステップで進<br>める構成にしている。<br>・2年間の学習を振り返るページを設定し、中<br>学校の学習へつなげる構成にしている。<br>【分量・装丁】<br>・A4判、153ページである。<br>・実習例は、内容によって1ページや、見開き<br>2ページで示している。<br>・実習に関する用具の扱い方を確認できるよう<br>写真を掲載している。 | ・「安全」のマークで、実習や製作<br>等での注意点を示している。<br>・題材のタイトルの大きさを揃え、<br>学習内容をページの端にインデッ<br>クスで示している。<br>・「関連」のマークで、関連する他<br>教科の内容を示している。<br>・「右利き」「左利き」それぞれの作<br>業の仕方を写真で示している。<br>・SDGsと関連する内容を巻頭で示<br>している。                               |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 保健

| 発行者の番号略称   | 書名                                | 編集の趣旨と工夫  | 学習指導要領との関連  | 内容  | 構成・分量・装丁   | 表記・表現   |
|------------|-----------------------------------|---|---|---|--|---|
| 2<br>東書    | 新編 新しいほけん 3・4<br>新編 新しい保健 5・6     | ・課題解決学習を通して主体的な学習を促し、実践力を育むことができる工夫をしている。<br>・身近な生活と関連する事例を取り上げ、学習したことを実生活や今後の学習に主体的に生かす工夫をしている。          | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、情報を集めたり話し合ったりして課題を解決するために「調べる・解決する」を設定している。また、学習したことをもとに筋道を立てて説明するために「深める・伝える」を設定している。                  | 【知識及び技能】<br>・見通しをもって理解できるようにするために、学習の進め方を4つのステップにしている。<br>・毎時間記述式のまとめがあり、学年の最後には学習を振り返るワークシートにつながる二次元コードを掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・多様な考え方を引き出すことができるように、自由記述で自分の考えを書き込める欄を設定している。<br>・自分の生活経験を想起して考えられるように、「調べる・解決する」という学習活動を設定している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・興味や関心をもって主体的に学習できるように、「学習の課題」を設定し、キャラクターからの吹き出しを掲載している。<br>・手の汚れを調べる実験やけがの応急処置の実習を、写真やイラスト等で解説している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・防災意識の向上につながる発展的な内容として、けがの防止の中で自然災害についての学習課題を設定している。<br>・多様性への配慮として、外国にルーツを持つ児童などを掲載したり、個人差についての説明をしたりしている。  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・学習課題を把握したり健康課題を見付けたりする導入のページを右側にそろえ、展開の部分で次ページから示している。<br>・どの単元にもGIGA端末で視聴できる動画の資料を掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を4～6ページとし、正解を見ながらの話し合いにならないように、答えとなる内容を次ページ以降に示している。                            | ・「思春期にあらわれる変化」では、シルエット、写真、イラストで男女の違いを示している。写真は男女で異なる水着の姿を、イラストは服を着用していない裸の絵を掲載している。<br>・各単元で発展的な内容についての資料を掲載し、動画などにつながる二次元コードを掲載している。       |
| 4<br>大日本   | 新版 たのしいほけん 3・4年<br>新版 たのしい保健 5・6年 | ・協働的な学習活動を通して、興味をもって主体的に課題解決を図ることができる工夫をしている。<br>・学習意欲を高めるために、キャラクターの吹き出し等を用いてヒントを出したり、説明したりするなどの工夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、考えたことを伝え合うなどしてよりよい解決策を見出すために「話し合おう」を設定している。また、学んだことをもとに日常生活に結び付けながら自分の考えを記述するために「活かそう」を設定している。          | 【知識及び技能】<br>・学習の流れをつかみ理解しやすくするため、学習の過程を「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「活かそう」等としている。<br>・知識を広げ、深めることができるようにするため、単元の最後に「もっと知りたい!」のページを設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・考えたことや話し合ったことを書き込めるように、「活かそう」等の部分に、考えたことを記述する欄を設定している。<br>・「話し合おう」の部分では、話し合う内容に関連するイラストに加え、文章でも説明をしている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・さらに詳しく学んだり日常生活に生かしたりできるように、「もっと知りたい」のページに資料や写真を掲載している。<br>・家庭や地域で生活していく際にどうするかを考え、実践するための内容を「家・地域でほけん」に記載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・3・4年、5・6年ともに、パソコンやスマートフォンとの付き合い方を最終ページに記載している。<br>・体の変化などについて個人差があることを説明するとともに、心の健康でジェンダーについて記載している。                             | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・見直しをもって学習ができるように、ページの左端に学習の流れのガイドを示している。<br>・主体的に学習を進めるために「つかもう」や「話し合おう」など、協働的な活動で授業が展開していくように構成している。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を2～4ページとしている。また、巻頭に折り込みページを設け、緊急通報ダイヤルやSOSダイヤル等、切り取ってカードにできるようにしている。 | ・「思春期にあらわれる体の中の変化」は、男女の裸の絵で示している。子どもと大人の体の違いは、同じ衣服を着用した写真を掲載している。<br>・健康についての課題を自分事として捉えられるようにするため、「じっけん」では、通報ダイヤルやSOSダイヤル等の写真やイラストを掲載している。 |
| 50<br>大修館  | 新 小学校ほけん 3・4年<br>新 小学校保健 5・6年     | ・「考えよう」等の学習活動を提示し、健康や安全に関する思考力や表現力等を育む工夫をしている。<br>・意欲的に学習できるようにイラスト等を活用するとともに、資料ページで学びを広げ深める工夫をしている。      | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、自分の考えを説明したり、仲間の意見を聞いたりして学習の課題を解決するために「話し合おう」を設定している。また、自分の考えを書き出したり整理したりするために「考えよう」を設定している。             | 【知識及び技能】<br>・導入の活動、課題を解決する活動、学んだことをまとめる活動と、学習の過程を3段階に分けている。<br>・学習した知識の確実な習得を促すため、毎時間の最後にウェブクイズ「ほけんクイズ」にトライ!」を掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・児童の思考を促したり概念的な理解を導き出しやすいため、キャラクターの会話や吹き出しを掲載している。<br>・思考・判断したことを表現できるように、まとめの部分をはじめ、学習課題に応じて記述できるスペースを設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・学んだことを生活に生かすことができるように、各章の最後に「学習をふり返ってみよう」のページを設けている。<br>・科学的な根拠をもとに生活を改善していく実践力を養うために、実験の結果を写真で掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・ながらスマホが原因となる危険や犯罪被害の防止などについて、「もっと学びを広げよう! 深めよう!」で示している。<br>・共生社会の実現に向けて、巻末に「よりくらしやすい社会を目指して 共に助け合って生きよう」のページを設定している。                         | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・見直しをもって主体的に取り組むことができるように、どの単元も3つのステップで学習を進める構成としている。<br>・学びを広げ深めるために資料ページを設け、学んだことをどのように日常化していくかなどの事例を掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を2～4ページとしている。1単元を偶数ページに収め、新しい単元の始まりが必ず右ページにくるようにしている。        | ・「思春期の体の変化」では、男女の体つきの特徴について、同じ衣服を着用している写真やイラストで示している。<br>・イメージをつかんだり分かりやすくしたりするため、各種の実験や環境等の様子を写真で示している。                                    |
| 207<br>文教社 | 新わたしたちのほけん 3・4年<br>新わたしたちの保健 5・6年 | ・各学年の初めに動機付けのページを設け、見直しをもって意欲的に学習に取り組むことができる工夫をしている。<br>・学習した知識をもとに日常生活で実践するために、生活の改善について考える工夫をしている。      | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、理解したことをもとに生活での実践につなげることを記述する「もう一歩先の自分へ」を設定している。また、単元のまとめに、学んだことをもとにこれからの課題を考えて意見交換をするために「宣言ページ」を設定している。 | 【知識及び技能】<br>・「本時のMenu」で学習課題を示し、課題解決を図るために「Mission1」「Mission2」等の学習過程にしている。<br>・学んだ知識をさらに深められるように、「もっと知るところ課」や「もっと考えよう課(発展)」を設定している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・身近な事例から自己の課題を想起できるように、各学年の始めに、学習するに当たっての問いかけを示している。<br>・学習内容についてより深く思考することができるように、「ちよっとまった!」を設定している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・身近な写真やイラストをもとに、興味・関心をもって調べられるように、「Stage1」「Stage2」という学習活動を設定している。<br>・学習したことを自分事として捉え、活用したり広げたりできるように、まとめとして「もう一歩先の自分へ」を設定している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・学んだ知識が実践的な力につながるように、各学年の最後に「これからの自分の課題を考えよう」を設定している。<br>・SDGs「5ジェンダー平等を実現しよう」のロゴを掲載し、性の多様性や相手を理解することについて説明している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・主体的に学習が進められるように、「Mission」「Stage」という流れで構成し、まとめにつなげる構成としている。<br>・対話的に学習を進めながら考えを深めることができるように、イラストやキャラクターの吹き出しを活用している。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を2～4ページとしているが、内容によっては5～6ページとしている。                      | ・「思春期の体の変化」では、衣服を着用している男女の絵と、裸の男女の絵を掲載している。<br>・簡潔で分かりやすくするための吹き出しを掲載するとともに、彩度の高い写真や補色を用いた配色で示している。   |

| 発行者の番号<br>略称 | 書名                            | 編集の趣旨と工夫  | 学習指導要領との関連  | 内容   | 構成・分量・装丁   | 表記・表現  |
|--------------|-------------------------------|---|---|--|--|--|
| 208<br>光文    | 小学ほけん3・4年<br>小学保健5・6年         | ・「考えよう」等の学習活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育むことができる工夫をしている。<br>・図や表、イラストや4コマ漫画等を掲載し児童が興味をもちながら見通しをもって学習を進める工夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、他者との対話を通して自分の考えを広げたり深めたりして課題解決に向かうために「話し合おう」「考えよう」を設定している。また、学んだことを生活でどう生かしていくか、考えをまとめ記述するために「生かそう」を設定している。       | 【知識及び技能】<br>・「調べよう」「考えよう」「話し合おう」の学習の流れとし、今後の生活に生かしていくことを記述する欄を設定している。<br>【学習内容の定着を図るために、各章末に「学習のまとめ」のページを設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・各単元の冒頭に、健康や安全についての例を提示し、自分の経験をもとに考える場面を設定している。<br>・自分の考えと友達の考えを比べるために、「話し合おう」という学習活動を設定している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・これから学ぶ内容を自分事として捉えられるように、毎時間の導入として「見つけよう」を設定している。<br>・学習したことを生活につなげていくために、取り組みたいことや理由を記述する「学んだことを生かそう」を設定している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・根拠をもって考え、生活を改善したり実践したりするために、「科学のとびら」や「この人に聞く」を掲載している。<br>・保健の学習とSDGsの目標が深く関連していることについて、巻末に「SDGsってなんだろう」を設定している。  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・学習の見通しをもちやすくするため「見つけよう」「考えよう」「調べよう」「話し合おう」「生かそう」という過程で構成している。<br>・保健を学ぶ意義や大切さに気付き、興味関心を引き出すことができるように、巻頭ページに「どうして保健を学ぶのかな。」をイラストを用いて6コマのストーリーで示している。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を2～4ページとし、毎時間左ページから始まる配置にしている。 | ・「思春期の体の変化①」では、男女ともに同じタイプの服装のイラストや写真を掲載している。<br>・根拠をもって考える力を身に付けることができるように、「科学のとびら」では実験の写真や病原体を拡大した写真を掲載している。                                  |
| 224<br>学研    | 新・みんなのほけん3・4年<br>新・みんなの保健5・6年 | ・課題解決学習を通して、主体的な学習を促し、実践力を育むことができる工夫をしている。<br>・実践的な理解が深まるように、身近な事例を提示し、生活を振り返りながら学習を進める工夫をしている。         | ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、課題の解決に向けて話し合ったり説明したりする学習課題を提示している。また、単元のまとめでは新たに興味をもったことや生活に生かすこと等についての考えをまとめ記述するために「学習したことを伝える」「明日につながる」を設定している。 | 【知識及び技能】<br>・基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるように、学習の流れを3つのピースで示している。<br>・仲間との話し合いで得た気づき等を書き記すことができるようにするため、記述する欄を学習課題に応じて配置している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・思考力や表現力を育むために、まずは個人で考え、それをもとに話し合ったり説明したりする展開としている。<br>・他者との対話を通して課題解決に向けて思考したり表現したりできるように、「考える、話し合う」を設定している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・導入部分で日常生活や経験を振り返ったり課題を発見したりする活動を提示している。<br>・学んだことを実生活で生かすことができるようにするために、「おうちで」「ちいさく」を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・共生社会の実現に向けての取組を、資料ページ「共に生きる社会に向けて」に掲載している。<br>・「もっと！知りたい・調べたい」のページに、「体の変化、一人一人ちがうね」「性について心の多様性」を記載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・自己の生活や体験したことを絡めて話し合ったり、イラストから問題部分を探したりするなど、個人で考えたり対話的に学んだりする構成としている。<br>・学習の初めに身近な生活での体験などを自分で考え、その後に仲間と関わり合いながら課題の解決に向かう構成としている。<br>【分量・装丁】<br>・1単位時間の内容を4ページとし、毎時間左ページから始まる配置にしている。                     | ・「大人に近づく体」では、子どもと大人の体つきの違いを男女同じ衣服を着用しているイラストで示し、思春期に起こる体の変化をシルエットで示している。<br>・科学的な理解に結び付け、学びを広げたり深めたりすることができるように、「かがくが目」や「ほけんのはこ」に資料や写真を掲載している。 |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 英語

| 発行者の<br>番号略称 | 書名  | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領との関連   | 内容   | 構成・分量・装丁  | 表記・表現  |
|--------------|---|--|--|--|---|--|
| 2<br>東書      | NEW HORIZON<br>Elementary<br>English Course 5<br><br>NEW HORIZON<br>Elementary<br>English Course<br>My Picture<br>Dictionary<br><br>NEW HORIZON<br>Elementary<br>English Course 6 | ・複数の単元のまとめた<br>言語活動を行う「Check Your<br>Steps」では、情報を整理しな<br>がら自分の考えや気持ちなど<br>を伝え合うことができるよ<br>う、考えを整理するための<br>コーナーを設けている。<br>・5、6年で1冊にまとめた語<br>彙・表現集を設け、それぞ<br>れの児童が伝えたい表現を<br>確認したり、自分で調べた<br>単語を書き留めたりできる<br>ような工夫をしている。 | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「外国語教育の<br>充実」に関連して、5年の<br>「ことば探検」では、日本語<br>と英語の発音や語順の違<br>い、カタカナ表記の日本語<br>との違いなどを扱い、国語<br>教育との連携を図り、日本<br>語の特徴やよさに気付か<br>せる工夫をしている。       | 【知識及び技能】<br>・ストーリーを伴った音声や映像を視聴する「Starting Out」や、学習した語彙や表現を使ったやり取りの活動を行う「Your Turn」を設けている。<br>・文字の音に慣れ親しみながらアルファベットの書き取りを行い、文を読むことへと段階的につなげる「Sounds and Letters」を設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・複数の単元を終えた後、年3回、これまで学習した内容を思考ツールなどを使って考えを整理しながら言語活動を行う「Check Your Steps」を設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・「Our Goal」で単元の冒頭に目標を明示し、「Your Plan」で目標の実現に向け考えを深め、「Your Goal」で目標の達成を確認する言語活動を設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・ジェスチャーの違いなど、国際理解・異文化理解について扱う「Over the Horizon」を設けている。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・「My Picture Dictionary」に「CAN-DOの樹」のページを設け、児童ができるようになったことを単元ごとに塗りつぶせるように工夫している。<br>【分量・装丁】<br>・判型はA4判にしている。<br>・語彙・表現集(My Picture Dictionary)を5、6年で1冊にまとめて別冊にし、判型はA4判にしている。<br>【学習者用デジタル教科書】<br>・音声や映像を一時停止や繰り返しをしながら視聴したり、選択した画像をスクリーンショットしたりできるようにしている。 | ・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。<br>・オリジナルのユニバーサルデザイン書体を使用している。<br>・配色およびデザインについて、専門家による検証を行っている。<br>・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、第2線は点線にして、基線は太線・青色にしている。 |
| 9<br>開隆堂     | Junior Sunshine 5<br><br>Junior Sunshine 5<br>Word Book<br><br>Junior Sunshine 6<br><br>Junior Sunshine 6<br>Word Book  | ・各単元で言語活動を行う<br>「Activity」では、スモールス<br>テップで自分の考えや気持<br>ちなどを伝え合うことができ<br>るよう、「Activity 1～3」の3つ<br>の段階を設けている。<br>・各学年の学習内容に合わ<br>せた別冊の語彙・表現集を<br>設け、カテゴリごとに分類<br>したり、索引をつけたりして、<br>児童が伝えたい表現を確認<br>しやすくなるような工夫をし<br>ている。  | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「外国語教育の<br>充実」に関連して、5年の<br>「Letter Box」では、日本語<br>の「ん」の発音の違いや<br>「へボン式」「訓令式」の<br>ローマ字の違いに触れ、<br>国語教育との連携を図り、<br>日本語の特徴やよさに気<br>付かせる工夫をしている。 | 【知識及び技能】<br>・目標となる語彙や表現を視聴する「Let's Watch and Think」を設け、実際のコミュニケーションにつながるように工夫している。<br>・言語活動を行った後、音声で十分に慣れ親しんだ英語と文字を結び付ける「Let's Listen and Read」を設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・繰り返し活動ができるよう単元ごとに「Activity」を複数回設け、年3回、既習事項の達成度をペーパーテストやパフォーマンステストで確かめる「Let's Check」を設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・児童が見通しをもって学んでいくことができるよう、1年間で何ができるようになるかを示す「CAN-DOチェック」を巻末に設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・世界のあいさつなど、国際理解・異文化理解について扱う「Around the World」や「Our World」を設けている。              | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・各単元の学習を振り返り、わかるようになったことや使えるようになったことをマークやコメントで記録に残す「CAN-DOチェック」を巻末に設けている。<br>【分量・装丁】<br>・判型はA4判にしている。<br>・語彙・表現集(Word Book)を学年ごとの別冊にし、判型はA4判にしている。<br>【学習者用デジタル教科書】<br>・動画や音声の視聴、本文の読み上げ、指定部分の拡大・縮小などができるようにしている。   | ・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。<br>・日本語はユニバーサルデザインフォントを使用している。<br>・専門家の校閲のもと、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。<br>・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は太線・青色にしている。        |
| 15<br>三省堂    | CROWN Jr. 5<br><br>CROWN Jr. My<br>Dictionary<br><br>CROWN Jr. 6  | ・まとめた言語活動を行う<br>「JUMP」に向け、「HOP」で見<br>通しを立て、「STEP」で必要<br>な語句や表現を学ぶなど、段<br>階的に取り組めるよう工夫し<br>ている。<br>・5、6年で1冊にまとめた語<br>彙・表現集を設け、各学年で<br>学習した表現や教室で使う<br>英語を一覧にまとめるなど、<br>児童が伝えたい表現を確認<br>しやすくなるような工夫をし<br>ている。            | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「外国語教育の<br>充実」に関連して、6年の<br>「世界のおはなし」では、<br>「スーホの白い馬」の日本<br>語版と英語版を取り上げ、<br>国語教育との連携を図り、<br>日本語の特徴やよさに気<br>付かせる工夫をしている。                     | 【知識及び技能】<br>・場面を通して語句や表現に触れる「STEP」を設け、学んだ表現で実際のコミュニケーションができるように工夫している。<br>・音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、書き写しや歌などで文字や音に親しむ「ABC Fun Box」を設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「HOP」「STEP」「JUMP」を含んだ年3つの「Unit」で構成し、「JUMP」をこれまで学習した語彙や表現を使ったまとめた言語活動として位置づけている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・「Unit」の冒頭に「My Goal」として目標を書くコーナーを設け、目標の達成に向け見通しがもてるよう「HOP」「STEP」「JUMP」の3段階を設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・世界のスポーツなど、国際理解・異文化理解について扱う「Hello, World!」を設けている。  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・「My Dictionary」に「英語でできること」のページを設け、児童ができるようになったことを技能ごとにチェックできるように工夫している。<br>【分量・装丁】<br>・判型はA4判にしている。<br>・語彙・表現集(My Dictionary)を5、6年で1冊にまとめて別冊にし、判型はA4判にしている。<br>【学習者用デジタル教科書】<br>・イラストをタッチして単語や語句の音声を聞いたり、デジタル教科書上に書き込みしたりできるようにしている。                     | ・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。<br>・専用の手書きフォントを使用している。<br>・専門家の校閲のもと、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。<br>・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は太線・青色にしている。                |
| 17<br>教出     | ONE WORLD<br>Smiles 5<br><br>ONE WORLD<br>Smiles 6  | ・「Think」のコーナーでは、単<br>元の目標に応じた問いをき<br>っかけに、自分の考えや気持<br>ちなどを整理できるよとし、<br>各単元のまとめた言語活動<br>につながるように工夫してい<br>る。<br>・実際のコミュニケーションに<br>おいて活用できる技能を身に<br>付けることができるよう、シ<br>ールやワークシートを設け、活<br>動のイメージがつかみやす<br>くなるよう工夫している。       | ・教育内容の主な改善事<br>項のうち、「外国語教育の<br>充実」に関連して、巻末の<br>「ローマ字表」では、へボン<br>式のローマ字とともに、国<br>語科の授業で扱う訓令式<br>での表記も併記し、国語教<br>育との連携を図り、日本<br>語の特徴やよさに気付か<br>せる工夫をしている。        | 【知識及び技能】<br>・映像を見て内容を捉える「Let's Watch」や、語彙や表現等を実際に使用しながら身に付ける「Activity」を設けている。<br>・アルファベットの文字や音に段階的に慣れ親しめるように、文字と音の関係を学ぶ「Sounds and Letters」を設けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「Let's Listen」「Activity」などで段階的に学習した後、単元ごとに、まとめた言語活動として行う「Final Activity」を設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・「○年生の英語の学習が始まるよ」で、1年間の学習目標を確かめ、児童が英語でできるようになりたいことを書き込む欄を設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・世界の料理など、国際理解・異文化理解について扱う「World of Smiles」を設けている。  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・各単元で児童が何ができるようになったかを振り返ることができるよう、「Lesson○をふりかえろう」で3段階でチェックする欄を設けている。<br>【分量・装丁】<br>・判型はA4判にしている。<br>・語彙・表現集(My Word Bank)を学年ごとに巻末に設けている。<br>【学習者用デジタル教科書】<br>・デジタル教科書上の英単語を押して音声を確認したり、字幕や速度調整機能を搭載した動画を視聴したりできるようにしている。                                 | ・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。<br>・書く時のアルファベットに近い形状のフォントを開発し、使用している。<br>・専門家の校閲のもと、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。<br>・4線の上下幅を4:5:4とし、基線は青色にしている。      |

| 発行者の<br>番号略称 | 書名   | 編集の趣旨と工夫  | 学習指導要領との関連  | 内容   | 構成・分量・装丁   | 表記・表現   |
|--------------|--|---|---|--|--|---|
| 38<br>光村     | Here We Go! 5<br>Here We Go! 6                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の単元のまとめとなる言語活動を行う「You can do it!」では、「Let's think.」のコーナーを設け、自分の考えを書き出すなどして整理できるような工夫をしている。</li> <li>教科書から取り外せる語彙・表現集を学年別に設け、相手とのやり取りに活用できる表現などを示し、児童が実際のコミュニケーションで使用できるような工夫をしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関連して、「言葉について考えよう」では、英語も日本語も、伝える相手が変わると言葉が変わることがあることについて触れ、国語教育との連携を図り、日本語の特徴やよさに気付かせる工夫をしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>・聞く活動やチャンツで表現に慣れ、表現や語彙に繰り返し触れる「Step」を設け、話す活動や書く活動につながるように工夫している。</li> <li>・アルファベットに慣れ親しみ、段階的に単語や文の読み書きにつなげる「Alphabet Time」を設けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・複数の単元を終えた後、年3回、まとめの言語活動として、主に「聞く」「読む」活動の「世界の友達」、主に「話す」「書く」活動の「You can do it!」を設けている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・各単元の初めと目次に「Goal」として何ができるようになるかを明示し、児童が見通しをもって取り組むことができるような工夫をしている。</li> <li>【かわさき教育プラン】</li> <li>・世界に暮らす小学生の写真を用い、国際理解・異文化理解について扱う「世界の友達」を設けている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</li> <li>・巻頭に、できるようになることを明示したCAN-DOリスト、巻末に、1年間で学んだ表現などを書き込む「All About Me」を設けている。</li> <li>【分量・装丁】</li> <li>・判型はAB判にしている。</li> <li>・語彙・表現集(Picture Dictionary)を学年ごとに巻末に設け、教科書から取り外せるようにしている。</li> <li>【学習者用デジタル教科書】</li> <li>・文章を読みやすく表示するために強調表示をしたり、13段階から好みの速度で再生できる紙面の読み上げ機能を設けたりしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。</li> <li>・日本語はユニバーサルデザインフォント、英語は4線の幅に対応した書体を使用している。</li> <li>・専門家の校閲のもと、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は青色にしている。</li> </ul> |
| 61<br>啓林館    | Blue Sky elementary 5<br>Blue Sky elementary 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の単元のまとめとなる言語活動を行う「REVIEW」では、コミュニケーションのポイントを複数示し、相手意識をもって自分の考えや気持ちなどを伝え合えるように工夫している。</li> <li>・巻末に単元のテーマごとに分類した語句の絵カードを設け、カルタなどの活動を通して、児童が必要な表現を身に付けることができるような工夫をしている。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関連して、巻頭の「コミュニケーションに大切なこと」では、伝わりやすい話し方や文章構成などについて学び、国語教育との連携を図り、日本語の特徴やよさに気付かせる工夫をしている。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>・基本的な語句や表現を音楽やリズムに合わせて学ぶ「Words and Phrases」「Chant」や、やり取りや発表を行う「Activity」を設けている。</li> <li>・アルファベットの名前読みや音読みなどを通して文字に慣れ親しみ、文字と音との関係を学ぶ「Let's Read and Write」を設けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・繰り返し活動ができるよう単元ごとに「Activity」を複数回設け、年3回、コミュニケーションのポイントを示し、既習事項を活用してまとめの言語活動を行う「REVIEW」を設けている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・見通しをもって学習を進められるよう、各単元の最初に「GOAL」として目標を明示するとともに、そこに至る過程を3つの段階で示している。</li> <li>【かわさき教育プラン】</li> <li>・世界の学校など、国際理解・異文化理解について扱う「Did you know?」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</li> <li>・各単元でできるようになったことをチェックする「Look Back」、巻末に、各学年でできるようになったことをチェックする「Can-Do List」を設けている。</li> <li>【分量・装丁】</li> <li>・判型はA4判にしている。</li> <li>・語彙・表現集(Word List)を巻末に設けている。</li> <li>【学習者用デジタル教科書】</li> <li>・音声の速度を変更したり、指定のアイコンをクリックすると教科書の二次元コードのコンテンツを利用したりできるようにしている。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のイメージをつかめるよう、絵や写真、アイコンを使用している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・色使いやデザインに配慮し、メディア・ユニバーサル・デザイン協会による検証を受けている。</li> <li>・4線の上下幅を5:6:5とし、基線は青色にしている。</li> </ul>           |

# 令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

## 道徳

| 発行者の番号略称  | 書名  | 編集の趣旨と工夫  | 学習指導要領との関連   | 内容   | 構成・分量・装丁   | 表記・表現  |
|-----------|---|---|--|--|--|--|
| 2<br>東書   | 新編 あたらしい<br>どうとく 1<br>新編 新しい どう<br>とく 2<br>新編 新しいどうと<br>く 3<br>新編 新しいどうと<br>く 4<br>新編 新しい道徳<br>5<br>新編 新しい道徳<br>6   | ・情報モラルやいじめの<br>防止などテーマを複数<br>の教材から学べるように<br>5つのユニット学習を全<br>学年に設定している。<br>・他教科等や生活とのつ<br>ながり、発達の段階を意<br>識した教材を配置する工<br>夫をしている。   | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、多様な指導<br>方法ができるように、<br>発問構成を考えたり<br>、現代的な課題に<br>目を向けた教材や<br>発達の段階を踏ま<br>えた構成の工夫をし<br>たりしている。                          | 【知識及び技能】<br>・現代的な課題について考えられるよう、全学年で「安心・安全」「生命の尊さ」等、5つのユニット学習を設定している。<br>・情報モラルに関する教材を全学年に配置したり、学んだことをSDGs等と関連が図れるコラムを掲載したりしている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・問題意識を高める言葉や、柔軟に授業ができるよう2つに絞った発問を「考えよう」に掲載している。<br>・全学年で問題解決的な学習ができる教材や、役割演技など体験的な活動ができる教材を配置している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・教材末に、学んだことを他教科等と関連付けたり、生活に広げたりする「つながる・広がる」を掲載している。<br>・巻末に1年間の学びを振り返る欄や考えを記入するワークシート型のページを各学年2～5か所掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・いじめ防止に関する教材は3つのユニットを全学年同時期に配置し、直接的に扱うもの、間接的に扱うものを掲載している。<br>・5年に世界人権宣言、子どもの権利条約に関する資料を掲載している。               | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・巻頭に、「何を学ぶのか」「どんな学びをするのか」というページや「気づく」「考える」「広げる・深める」というページを設け、道徳科の学び方を示している。<br>・全教材に朗読音声、スライド、デジタルノートが見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・巻末に、心に残った教材、学習の振り返りを記録できるページを設けている。<br>・「心のメーター」など考えるためのツールや心情円が作成できるページを掲載している。<br>・AB判を採用している。 | ・各教材に、内容項目の視点ごとのマーク、主題を表示している。<br>・低学年には分かち書きを取り入れている。<br>・教材冒頭にめあてを表示し、教材末「考えよう」に発問を掲載している。                               |
| 17<br>教出  | しょうがくどうとく<br>1 はばたこうあす<br>へ<br>小学どうとく2 は<br>ばたこう明日へ<br>小学どうとく3 は<br>ばたこう明日へ<br>小学道徳4 はばた<br>こう明日へ<br>小学道徳5 はばた<br>こう明日へ<br>小学道徳6 はばた<br>こう明日へ   | ・体験的な学習や問題<br>解決的な学習など多様<br>な指導方法ができる教<br>材を複数配置している。<br>・授業の展開に合わせ、<br>道徳的価値を自分に引<br>き付けたり、実生活につ<br>なげたりできるような発問<br>を掲載するなどの工夫を<br>している。   | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、多様な指導<br>方法を取り入れた<br>り、日常生活の事例<br>や現代的な課題の<br>教材など多種多様<br>な教材で、多面的・<br>多角的に考えたりで<br>きるような工夫をして<br>いる。                 | 【知識及び技能】<br>・全学年を通して、いじめの問題、情報モラルを重点として位置付け、複数の教材で学ぶユニット学習を設定している。<br>・現代的な課題として、SDGs、防災教育、福祉教育、キャリア教育等に関連する教材を掲載している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・体験的な活動を通して「たいけん」や問題解決的な学習ができる「問題を解決しよう」を掲載している。<br>・自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動が充実するよう、「考えよう」「深めよう」を設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・低学年には、巻末に礼儀とマナーのコラム、中学年にはアサーション、アンガーマネジメントのコラムを掲載している。<br>・学んだことを日常生活や他教科等と関連付ける「つなげよう」を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・6年に世界人権宣言の資料、5年にSDGsの資料を掲載している。<br>・神奈川県に関する教材では、5年で横浜港、6年で横浜市水道局を取り上げている。  | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・巻頭に、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方を示すページを掲載し、教材末に1時間の学習の振り返りの項目を設けている。<br>・朗読音声、動画、思考ツール等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・巻末の「学びの記録」「一年間の道徳の学習を振り返ろう」には書き込み欄を設けている。<br>・AB判を採用している。  | ・各教材に、内容項目の視点ごとのマーク、主題を表示している。<br>・低学年の文章は分かち書きを取り入れている。<br>・教材冒頭に導入の発問例を掲載している。   |
| 38<br>光村  | どうとく 1 きみが<br>いちばん ひかるとき<br>どうとく 2 きみが<br>いちばん ひかるとき<br>どうとく 3 きみが<br>いちばん ひかるとき<br>道徳 4 きみが いち<br>ばん ひかるとき<br>道徳 5 きみが いち<br>ばん ひかるとき<br>道徳 6 きみが いち<br>ばん ひかるとき   | ・発達の段階や内容項<br>目の特質を踏まえ、1<br>年間を通して道徳性を<br>養うことができる構成<br>の工夫や、「いじめの<br>問題」「情報モラル」<br>等の4つのテーマをユ<br>ニット学習として配置<br>する工夫をしている。<br>・1時間の見直しをも<br>つための「手引き」や<br>話し合いで役立つヒント<br>や活動例を掲載してい<br>る。 | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、友達との関<br>わりや対話などを通<br>して道徳的価値のよ<br>さを大切にし、何を<br>学ぶのか、どのよう<br>に学ぶのか分かる<br>ようにしたり、年間を<br>通した教材の配置な<br>どの工夫をしたりし<br>ている。 | 【知識及び技能】<br>・全学年、年間を3つのカテゴリーに分けて1年間の学びを見通した教材の配置をしている。<br>・全学年に「いじめの問題」「情報モラル」に関する教材を配置し、3年以降には「環境」「共生」のテーマを加え、ユニット学習を設定している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・多様な考え方ができるよう、話し合いで役立つ言葉や話型、思考ツールや教材に応じた活動例を学年に応じて掲載している。<br>・考える視点「考えよう・話し合おう」に発問例、「演じて考えよう」に体験的な学習の例を掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・学習したことを次の行動につなげる言葉や、関連する書籍やSDGsとの関連を紹介する「つなげよう」を設けている。<br>・3年以上には、長期休みを視野に入れた「〇休みに調べてみよう」というコーナーを設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・高学年に子どもの権利条約、世界人権宣言を扱った教材、3年以降には「共生」をテーマにした教材を掲載している。<br>・全学年に「心を通わそう」を設け、よりよい人間関係づくりに関する内容を掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・第1教材では、道徳は何を学ぶ教科なのかを掲載し、第2教材では、道徳の学び方を掲載している。<br>・各教材に、朗読音声、画像、スライド、動画等が見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・巻末に自己評価の記録を残す「学びの記録」を設けている。1～4年はシール型、5、6年は記入型を取り入れている。<br>・B5変形判を採用している。  | ・各教材冒頭に内容項目の視点ごとのマーク、内容項目を平易な言い方にした言葉、導入の発問例を表示している。<br>・読みのつまずきを軽減するため、行頭に助詞が来ないように配慮している。<br>・登場人物が複数いる場合は、挿絵に名前を記載している。 |
| 116<br>日文 | しょうがく どうとく いきる ちか<br>ら 1 どうとくノート<br>小学 どうとく 生きる力 2<br>小学 どうとく 生きる力 2<br>どうとくノート<br>小学 どうとく 生きる力 3<br>小学 どうとく 生きる力 3 どう<br>とくノート<br>小学道徳 生きる力 4<br>小学道徳 生きる力 4 道徳ノ<br>ート<br>小学道徳 生きる力 5<br>小学道徳 生きる力 5 道徳ノ<br>ート<br>小学道徳 生きる力 6<br>小学道徳 生きる力 6 道徳ノ<br>ート | ・問題解決的な学習や<br>体験的な学習など、多様<br>な展開例を掲載した<br>「ぐっと深める」や他教科<br>等と関連を図る「心のベン<br>チ」を設定している。<br>・児童が学んだことを記<br>録したり振り返ったりす<br>ることができるよう、別冊<br>「道徳ノート」を設けてい<br>る。                                  | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、自分のよさ<br>を見つめ、自己肯定<br>感を高めることがで<br>きる内容を重視し、<br>多面的・多角的な考<br>え方や視野を広げる<br>ことができる資料の<br>工夫をしている。                       | 【知識及び技能】<br>・情報モラルや、SDGs、安全、キャリア教育等に関する教材を各学年に掲載している。<br>・いじめの問題に関して、年間3回、ユニット学習ができるように直接的な教材、間接的な教材とコラムを配置している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材を配置し、「ぐっと深める」には多様な展開で考えられるよう学習の流れを示している。<br>・考えたことや話し合ったこと、学習の振り返りを記入する別冊「道徳ノート」を設けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・学習を通して学んだことをこれからの生活に生かしていくための発問例を「見つめよう生かさう」に掲載している。<br>・教材に関連した内容や活動を取り上げた、コラム「心のベンチ」を全学年5つ設けている。<br>【かわさき教育プラン】<br>・別冊「道徳ノート」には、家庭からのコメントを記入する欄を3か所設けている。<br>・高学年の「心のベンチ」には子どもの権利条約と世界人権宣言を掲載し、3年以降には「SDGsで考えよう」を掲載している。                   | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・巻頭に「気づく」「考える」「深める」「見つめる・生かさう」という学び方を伝えるページを掲載している。<br>・朗読音声、画像、動画等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・書くことに配慮し、別冊「道徳ノート」は、1年はマス目、2～6年は罫線にしている。また、デジタル版の「道徳ノート」も掲載している。<br>・35教材と付録3教材を掲載している。<br>・AB判を採用している。                  | ・各教材冒頭に内容項目の視点ごとのマーク、導入の発問例、教材の要約文を表示している。<br>・低学年の本文は行頭で単語が切れないように改行している。<br>・各教材の始めに登場人物のイラストと名前を記載している。                 |

| 発行者の<br>番号略称 | 書名  | 編集の趣旨と工夫   | 学習指導要領<br>との関連  | 内容   | 構成・分量・装丁   | 表記・表現   |
|--------------|---|--|---|--|--|---|
| 208<br>光文    | しょうがく どうと<br>く ゆたかな こ<br>ろ1ねん<br>小学 どうとく ゆ<br>たかな ころ2年<br>小学 どうとく ゆ<br>たかな心 3年<br>小学道徳 ゆたかな<br>心 4年<br>小学道徳 ゆたかな<br>心 5年<br>小学道徳 ゆたかな<br>心 6年 | ・問題意識をもって学習<br>に取り組めるよう、導入<br>部分に教材や学習内容<br>に関する一文を掲載した<br>り、多面的・多角的に考<br>えることができるよう、「考<br>えよう」「広げよう」設けた<br>りする工夫をしている。<br>・現代的な課題につい<br>て、「生命・自然」「いじ<br>め・情報モラル」等、5つ<br>の重点を設け、教材を配<br>置している。 | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、よりよい人間<br>関係の育成を目指<br>し、学年に応じて人<br>とのつながりをテー<br>マにした学習ができ<br>るよう、体験的な活<br>動を取り入れるなど<br>の工夫をしている。 | 【知識及び技能】<br>・「生命の尊さ」「いじめの問題」について、指導の重点化、指導の系統性が図れるよう複数時間構成としている。<br>・現代的な課題への取組として、生命の尊厳・自然、人との共生、情報モラル、レジリエンス等に関する教材を全学年で設定している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・体験的な学習で考えるポイントや多面的・多角的に考えを深めるための思考ツール、対話ツールを掲載している。<br>・教材の冒頭に、問題意識をもつことができる問いを設定したり、「かんがえよう」「まとめよう」に発問例を掲載したりしている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・豊かな人間関係を養うため、体験的な活動のやり方を示すコラム「みんなでやってみよう」を全学年に設定している。<br>・学んだことを実際の生活に生かす具体的な例を「ひろげよう」に掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・人との共生(人権、ジェンダー等)に関する教材、SDGsに関するコラムを全学年に掲載している。<br>・神奈川県に関連した人物、企業等を扱った教材を掲載している。       | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・巻頭に「問いを見つけよう」「考えよう」「まとめよう」<br>ふりかえろう」という学習の流れを示している。<br>・画像、動画等のデジタルコンテンツが見られる二次<br>元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・巻末の「学びの足あと」には、授業の記録を残す切<br>り取り可能なページを掲載している。<br>・35教材と付録5教材を掲載している。<br>・AB判を採用している。 | ・各教材冒頭に、内容<br>項目の視点ごとのマー<br>ク、主題、考えさせたい<br>ことを表示している。<br>・3年までは全ての漢字<br>にふりがなを付けてい<br>る。<br>・登場人物が複数いる<br>場合、教材冒頭にイラス<br>トと名前を記載してい<br>る。 |
| 224<br>学研    | 新版 みんなのど<br>うとく1<br>新版 みんなのど<br>うとく2<br>新版 みんなのど<br>うとく3<br>新版 みんなの道<br>徳4<br>新版 みんなの道<br>徳5<br>新版 みんなの道<br>徳6                                | ・重点テーマを「いのち<br>の教育」とし、いじめの防<br>止に関する教材や多様<br>性に関する教材をユニ<br>ット学習として配置してい<br>る。<br>・教材への導入がしやす<br>いように、キーフレーズを<br>掲載したり、内容項目に<br>関連した資料を掲載した<br>りするなどの工夫をして<br>いる。                               | ・教育内容の主な改<br>善事項のうち、「道<br>徳教育の充実」に関<br>連して、重点テーマ<br>に「いのちの尊さ」を<br>位置付けたり、主体<br>性や広い視野をもっ<br>て多様な学び方が<br>できるように構成の<br>工夫をしたりしてい<br>る。        | 【知識及び技能】<br>・いのちの教育を最重点テーマとし、「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマで、ユニット学習を設定している。<br>・情報モラルを系統的に学ぶために各学年に教材とコラムで学習ができるように設定している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・問題解決的な学習の展開や話し合いに導く問いなどを「深めよう」に、体験的な学習の例を「心のパスポート」に掲載している。<br>・教材の内容や自分との関わりについて考える発問を2つに絞り、「考えよう」に掲載している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・巻頭の「つながる私ひろがる私」には自分のプロフィール、巻末には1年間の振り返りを記入するページを設けている。<br>・「心のパスポート」には教材での学習に関連するコラムや自分との関わりで考えを記録する欄を掲載している。<br>【かわさき教育プラン】<br>・「生命の尊さ」に関する教材は全学年3つ掲載し、多様性、いじめの防止、キャリア教育に関連する教材は各学年複数掲載している。<br>・神奈川県に関連した人物、企業等を扱った教材を掲載している。 | 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】<br>・巻頭に「見つけよう」「考えよう」「生かそう」という学<br>び方を紹介するページを掲載している。<br>・画像、動画、音声等のデジタルコンテンツが見られ<br>る二次元コードを掲載している。<br>【分量・装丁】<br>・吹き出しや枠など直接書き込む欄を設けている。<br>・AB判を採用している。   | ・各教材冒頭に、内容<br>項目の視点、現代的な<br>課題、SDGsに関するこ<br>とにそれぞれマークを表<br>示している。<br>・1年ではカタカナにも<br>ふりがなを付けている。<br>・教材の内容の一部を<br>抜きだして教材冒頭に<br>表示している。    |